

No.	ポイント	ポイント解説
①	横田常夜灯	滋賀県湖南市三雲 江戸時代、文政5年に建立された常夜灯で、旧東海道最大の常夜灯である。その高さは10.5m土台部分は畳、八畳分と言われています。
②	福正寺のノッポ常夜灯	滋賀県栗東市六地藏 旧東海道石部の宿の近く六地藏の地、国指定文化財を有する、江戸時代の薬屋の旧家和中散本舗の向かいにある。歴史的にはまだ新しい物なのですがユニークな形をした常夜灯です。
③	出島灯台	滋賀県大津市今堅田 琵琶湖に残る明治の木製灯台で高さ8.7mあります。明治八年に起こった客船転覆事故により、四十七名の方が亡くなってしまった事から、これを期に作られた物で当時は近所の九戸の家が輪番制で灯していた。
④	打出の常夜灯	滋賀県大津市なぎさ公園 正式には「石場の常夜灯」と呼ばれるもので、元は大津警察署の裏に有ったのですが現在はこの場所へ移され「打出の常夜灯」呼ばれています。石場～矢橋間の渡し船の目印、灯台として使われていました
⑤	五山の送り火の一つ (大文字)	京都市左京区浄土寺七廻り町 8月16日に行われるかがり火。お精霊（おしょうらい）さんと呼ばれる死者の霊をあの世へ送り届けるとされる。五山の中では一般の人が原則として自由に登れる唯一の山である。
⑥	京都タワー	京都市下京区烏丸七条下ル 京都駅烏丸中央区口前に大きくそびえ立っている。台座となっている京都タワービルを含めた高さは131m。タワーの姿は市内の町家の瓦葺きを波に見立て、海のない京都の街を照らす灯台をイメージしたものである。
⑦	桂大橋の常夜灯	京都市西京区桂浅原町 桂大橋西詰にある。江戸時代末期の弘化3年（1846年）の建立。常夜灯の笠の部分には「往来安全」と刻まれており、街道（山陰街道）を旅する人や桂川を行き来する船の船頭さん達に灯りを提供していた。
⑧	十三大橋 常夜灯	大阪市北区中津 旧能勢街道の府道大阪池田線で十三大橋の南詰めに常夜灯型の道標があり、高麗橋からここまで一里であることを示している。
⑨	大阪 天満宮 常夜灯	大阪市北区天神橋2-1-8 学問の神様として知られる菅原道真を祭った大阪天満宮。地元の人からは「天満の天神さん」の愛称で親しまれております。毎年7月24日～25日かけて行われる「天神祭」は東京の神田祭、京都の祇園祭とともに、日本三大祭の一つとして知られています。
⑩	天保山灯台	大阪市港区築港3丁目25 初点は明治5年。日本で最も低い山として有名な天保山の傍らに立つ。初代はプラントン設計の四角形木造灯台。現在は円形コンクリート造りの廃灯で高速道路の高架橋が頭上を通っています。

No.	ポイント	ポイント解説
⑪	住吉 池田屋味噌店 常夜灯	大阪市住吉区住吉 1-9-22 1892(明治25)年の建築である建物は登録有形文化財で、虫籠窓を持ち、軒に住吉灯籠が置かれている。熊野街道と住吉街道が交わる交点にある。元禄年間に酒造業として創業し、明治初年十七代池田屋甚兵衛から味噌造りを始め、「住之江味噌」は住吉名物になっている。
⑫	東家渡し常夜燈 三軒茶家常夜燈	橋本市東家・橋本市賢堂 高野街道の紀ノ川の渡し跡です。東家（とうげ）は紀ノ川の北側にあって、三軒茶家は南側にあります
⑬	慈尊院 常夜灯 (じそんいん)	和歌山県伊都郡九度山町慈尊院 慈尊院は空海の母親が移住した処です。高野山から空海が9度会いに来た事から九度山と名付けられた。 今では高野山と共に有名な古刹です。(世界遺産)
⑭	伊太祁曽神社 (常夜燈)	和歌山市伊太祁曽 558 五十猛命（いたけるのみこと）が沢山の木々の種を持ちきて、紀伊の国を作りました。無病息災を祈る神様です。
⑮	春日大社 万灯籠	奈良市春日野町 160 世界遺産にも登録されている奈良の春日大社の年中行事で、年に2回、2月の「節分万燈籠」と、8月「中元万燈籠」に回廊にある3000基全ての燈籠に火が灯されます。
⑯	安堵町歴史 民俗資料館	奈良県生駒郡安堵町東安堵 1322 東大寺等の灯明に使う「灯芯」を供給している・常設展示場
⑰	かぎろひの丘 万葉公園	奈良県宇陀郡大宇陀町大字迫間 25 (大宇陀高校前バス停から西 200m) 「ひむがしの 野にかぎろひの立つ見えて かへり見すれば 月かたぶきぬ」の歌人・柿本人麻呂（かきのもとひとまる）が「かぎろひ」を見た丘。
⑱	今津灯台	西宮市今津西浜町 17 江戸後期の文化7年(1810)今津の酒造家長部家五代目長兵衛によって創設され、昭和59(1984)年には創建当時そのままの姿に復元された。木造の灯籠型の灯台で、今でも現役で役目を果たしています。
⑲	湊川神社 灯籠	神戸市中央区多聞通 3-1-1 楠公（なんこう）さんの愛称で親しまれています。境内には水戸光圀（徳川光圀）の直筆による楠木正成公の墓碑があり、水戸光圀（徳川光圀）の銅像も建てられています。本殿前には大灯籠があります
⑳	明石港旧灯台	明石市港町 1657年明石藩主松平忠国(文学マニア)の命で造られ、現存する灯台としては、全国で3番目、近畿では最古の灯台です。石灯籠のような形ですが、昭和38年まで現役でした。